

平成16年度

相模原市立博物館 年報



相模原市立博物館

SAGAMIHARA CITY MUSEUM

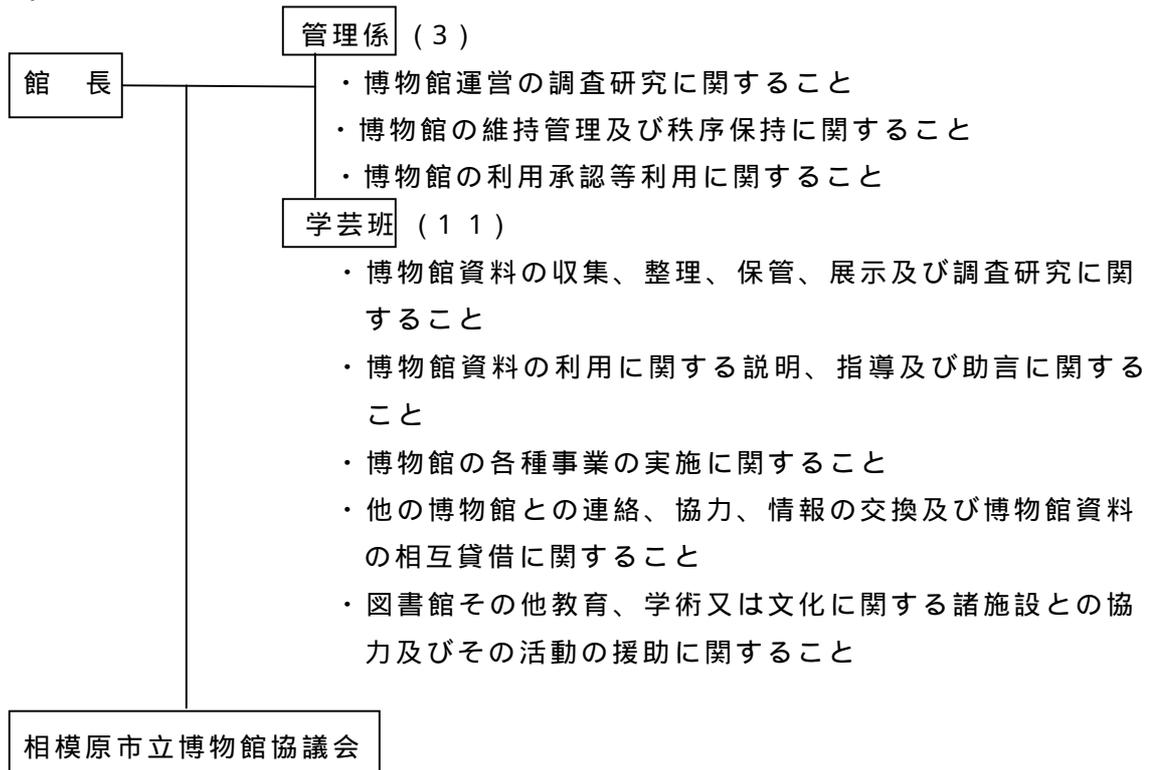
平成17年4月1日

平成16年度 相模原市立博物館年報

管理運営

1 組織及び職員

(1) 組織と事務分掌



(2) 職員(平成17年3月31日現在)

館長	参事(兼)館長	井上 進
管理係	副主幹(兼)管理係長	成瀬 正行
	主査	不動田 とし子
	主任	久万 真彦
学芸班	担当課長	杉本 芳秋 (天文担当)
	(学芸班担当)	
	副主幹(学芸員)	守屋 博文 (動物担当)
	指導主事	遠山 正紀 (地理担当)
	指導主事	平能 克泰 (天文担当)
	主査(学芸員)	加藤 隆志 (民俗担当)
	主任(学芸員)	秋山 幸也 (植物担当)

主 任	福田 豊	(情報担当)
主 任	上田 幸枝	(歴史担当)
主 事 (学芸員)	河尻 清和	(地質担当)
主 事 (学芸員)	河本 雅人	(考古担当)
主 事 (学芸員)	塩谷 裕久	(天文担当)

なお、受付案内業務は(財)相模原市都市整備公社に委託し8名が配属され、プラネタリウム投影業務の一部は(株)東急コミュニティーに委託し3名が配属されている。

2 博物館協議会

趣 旨 博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。

委員構成 3名(学校教育)、2名(社会教育)、5名(学識経験者)の計10名

任 期 2年(平成15年11月20日~平成17年11月19日)

活動状況 16年度は4回開催され、プラネタリウムの評価について検討等がなされた。

3 施 設

(1) 施設概要

- ・敷地面積 9999.48㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造
- ・規模 地下1階・地上3階建て
- ・建築面積 5081.03㎡
- ・延床面積 9510.24㎡

(2) 施設管理

- ・施設の設備管理、警備、清掃業務は外部委託している。
- ・消防訓練 5月11日(火・臨時休館日)、10月13日(水・臨時休館日)、1月26日(火)

4 予 算

平成16年度予算

(単位:千円)

款項目	科目名	本年度予算額	前年度予算額	比 較	財源内訳
50:20:40	博物館費	261,834	264,119	-2,285	一般財源 244,932 特定財源 16,902

節		説 明		
区 分	金 額		16年度	15年度
1報酬	504	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
8報償費	7,904	経費内訳		
9旅費	850	1 博物館協議会経費	535	538
11需用費	73,971	2 市制50周年記念事業	9,114	0
12役務費	895	3 施設運営費	86,018	94,103
13委託料	143,075	(1) 資料収集保存経費	5,471	6,004
14使用料及び賃借料	22,969	(2) 資料調査研究経費	3,751	3,851
18備品購入費	11,516	(3) 展示・教育普及事業経費	13,745	21,026
19負担金、補助及び 交付金	132	(4) フラネリウム事業経費	62,603	62,759
27公課費	18	(5) その他運営費	448	463
		4 施設維持管理費	157,733	163,258
		5 施設維持補修費	7,800	5,500
		6 一般事務費	634	720
		合 計	261,834	264,119

教育普及

1 入館者数

(1) 平成16年4月1日～平成17年3月31日

総計 111,610人

(2) 各月ごとの詳細は、次のとおり。

月	入館者総数	プラネ総数	一般投 影計	全天周 映画	学習投 影計	特別展 総数	星空観 望会	講座講 演会	プラネ観覧料	開館日	1日平均
16年4月	7,435	2,432	1,001	1,406	25	3,758	89	384	755,460	25	297
5月	11,299	4,783	2,241	1,942	600	4,806	41	320	1,419,960	25	452
6月	7,928	2,792	940	708	1,144	-	53	313	561,640	26	305
7月	10,855	4,467	2,490	1,102	875	1,011	213	695	1,162,990	27	402
8月	16,597	7,333	4,887	2,400	46	2,708	191	524	2,264,040	26	638
9月	6,694	1,916	1,225	685	6	-	39	409	644,000	25	268
10月	10,237	3,247	1,167	1,571	509	4,914	122	504	870,810	26	394
11月	10,979	6,078	926	1,512	3,640	4,748	47	416	716,670	23	477
12月	7,508	3,785	620	984	2,181	4,168	80	286	533,720	22	341
17年1月	7,262	3,023	1,448	1,438	137	3,447	117	391	987,220	24	303
2月	7,855	2,922	1,390	1,109	423	6,284	21	540	825,220	24	327
3月	6,961	3,002	1,220	1,282	500	3,707	37	366	820,360	27	258
16年度計	111,610	45,780	19,555	16,139	10,086	39,551	1,050	5,148	11,562,090	300	372
総計	1,132,859	492,475	197,018	197,076	98,381	384,784	8,900	44,230	133,605,820	2,813	

7年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836	11,099,520	107	733
8年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,186	18,187,120	300	419
9年度	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646	28,388	1,104	3,167	12,233,880	300	353
10年度	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714	24,779	624	5,696	12,820,900	299	359
11年度	115,031	53,660	20,759	23,651	9,250	36,670	665	5,255	15,325,720	295	390
12年度	111,161	46,879	17,302	18,777	10,800	31,658	634	5,258	11,921,600	302	368
13年度	132,776	59,062	20,169	28,312	10,581	57,647	910	4,574	14,329,780	305	435
14年度	119,068	48,791	19,702	18,277	10,812	55,672	925	4,277	12,221,160	303	393
15年度	126,120	53,625	18,655	24,859	10,111	51,538	1,133	6,873	13,904,050	302	418

2 特別展・企画展・収蔵品展等

(1) 企画展「相模原の石仏～石仏が伝える地域の歴史～」

内容 石仏の実物、複製や写真をはじめとして古文書などを展示し、石仏を資料として捉えられる地域の歴史の一端を紹介した。

期間 〔平成16年3月20日(土・祝)〕～5月23日(日)

観覧料 無料

入場者 10,308人(平成15年度分1,744人、平成16年度分8,564人)

出版物 ポスター500枚、チラシ8,000枚、リーフレット8,000部

関連事業 平成16年度実施分

- ・ 4月 3日(土) フィールドワーク「石仏を見る」
講師 加藤隆志(当館学芸員) 参加者: 29人
- ・ 4月11日(日) 展示解説 参加者: 36人
- ・ 4月18日(日) 記念講演会「石仏調査から分かること」
講師 小川直之氏(國學院大学教授) 参加者: 172人
- ・ 4月29日(木・祝) 展示解説 参加者: 23人
- ・ 5月 5日(水・祝) フィールドワーク「石仏を見る」
講師 加藤隆志(当館学芸員) 雨天中止
- ・ 5月 9日(日) 展示解説 参加者: 31人
- ・ 5月23日(日) 日曜講演会「相模原の石仏調査」
講師 加藤隆志(当館学芸員) 参加者: 198人

(2) 特別展「晃嶺の百花譜 - 五百城文哉の植物画 - 」

内容 植物画家の五百城文哉の晩年の作品を紹介するとともに、高山植物の美しさを考察した。

期間 7月17日(土)～8月29日(日)

観覧料 大人300円、高校生以下無料

入場者 3,719人

出版物 ポスター700枚、チラシ10,000枚、図録1,000部

関連事業

- ・ 7月18日(日) 記念講演会「五百城文哉と高山植物」
講師 大場秀章氏(東京大学総合研究博物館教授) 参加者: 95人
- ・ 7月31日(土) 記念講演会「五百城文哉、人と作品」
講師 寺門寿明氏(水戸市立博物館学芸員) 参加者: 88人
- ・ 8月 7日(土) こどものための植物画入門教室
講師 豊田路子氏(植物画家) 参加者: 25人
- ・ 8月 8日(日) こどものための植物画入門教室
講師 豊田路子氏(植物画家) 参加者: 24人
- ・ 8月15日(日) 展示解説 参加者: 70人
- ・ 8月29日(日) 展示解説 参加者: 35人

(3) 特別展「相模原 - その開発と変貌 - 」

内容 相模原市市制50周年を契機に相模野の開発と町から市へ、そして、市制施行後の変化について紹介した。

第1部 原野からの出発

期間 10月2日(土)～11月3日(水・祝)

観覧料 無料

入場者 5,412人

出版物 ポスター600枚 チラシ20,000枚 図録1,000部(1・2部共通)

関連事業

- ・10月31日(日) 記念講演会「相模野の開発」
講師 神崎彰利(相模原市市史編さん室特別顧問) 参加者: 92人
- 第2部 変わりゆくまち
- 期間 11月13日(土)～1月16日(日)
- 観覧料 無料
- 入場者 10,217人
- 関連事業
- ・11月21日(日) 講演会「相模原の都市化の道を探る」
講師 金原左門氏(中央大学名誉教授) 参加者: 78人
- ・12月12日(日) ミュージアムトーク
講師 藤本一美氏(鳥瞰図研究者) 参加者: 59人

(4) 学習資料展「～大地さんと未来さんが見つける～ちょっと昔の暮らし」

内容 収集されている資料の中から、学校の授業で活用できるような道具やモノを展示、子どもたちの調べ学習等にも活用した。

期間 1月26日(水)～3月13日(日)

観覧料 無料

入場者 10,535人

出版物 ポスター500枚、チラシ10,000部

関連事業

- ・1月30日(日) チャレンジ体験 参加者: 160人
- ・2月6日(日) 展示解説 参加者: 53人
- ・2月11日(金) うどん作り教室
講師 小山和江氏・安藤弘子氏・畠山民子氏 参加者: 18人
- ・2月12日(土) うどん作り教室
講師 小山和江氏・安藤弘子氏・畠山民子氏 参加者: 14人
- ・2月20日(日) チャレンジ体験 参加者: 120人
- ・2月27日(日) チャレンジ体験 参加者: 55人
- ・3月6日(日) 展示解説 参加者: 30人
- ・3月13日(日) チャレンジ体験 参加者: 50人

(5) 企画展「プールの生きもの - 秋・冬・春 - 」

内容 小学校のプールで確認された生きものを、標本や生体、写真で展示するとともに、プールの生きものを利用した学校での様々な実践を紹介した。

期間 3月26日(土)～〔平成17年6月19日(日)〕

観覧料 無料
入場者 1,104人(平成16年度)
出版物 チラシ8,000枚 リーフレット10,000部
関連事業 (平成16年度中はなし。)

3 講座・観望会・その他の事業

講座

講師は、学芸員が行ったもののほか、外部に依頼したものについては項目と付記した(なお、肩書きは当時)。

(1) 民俗講座「道祖神を調べる会」(14年度～17年度継続事業)

内容 月1回程度、当館や他施設での講義並びにフィールドワークを通じて道祖神について学習し、併せて市域の団子焼きを参加者自身が調査して、博物館の基礎データを作成した。

実施日 4月4日(日) 第18回 から3月6日(日) 第29回 まで全12回
(平成16年度分)

参加人数 延べ 450人

(2) 動物講座「川の生き物を調べよう」

内容 河川にはどのような生き物が生息しているのかを、観察や採集を通じて学習した。なお、本講座の成果は将来の特別展等に活用する。

実施日 [平成16年2月22日(日)]から4月18日(日)まで全7回

参加人数 延べ 25人(平成16年度開催の第6・7回)

(3) 博物館日曜講演会(16年度開催分;第24回～第35回)

内容 毎月第4日曜日に外部研究者や当館学芸員等の講演、成果発表を行い、幅広い学術的視点や今日的課題等の学習機会を提供した。

第24回 「人間とロボットのコミュニケーションの実現に向けて」

講師：今井倫太氏(慶応義塾大学講師)

第25回 「相模原の石仏調査」

講師：加藤隆志(当館学芸員)

第26回 「日本人、電信に会う～幕末の電気知識と近代化～」

講師：前島正裕氏(国立科学博物館主任研究官)

第27回 「縄文人の石の文化～配石遺構と敷石住居～」

講師：山本暉久氏(昭和女子大学教授)

第28回 「外国からやってきた動物たち」

講師：青木雄司氏(神奈川県立秦野ビジターセンター)

第29回 「地図の読み方～私たちの生活と地図～」

講師：折笠幸平氏（国土地理院係長）

第30回 「宇宙と重力と生命」

講師：山下雅道氏（宇宙科学研究本部教授）

第31回 「相模野台地の形成～南関東の地形発達史～」

講師：山崎晴雄氏（東京都立大学教授）

第32回 「超伝導の夢を追って - 研究と人生 -」

講師：秋光純氏（青山学院大学教授）

第33回 「生糸貿易と相模原」

講師：西川武臣氏（横浜開港資料館調査研究員/日本大学講師）

第34回 「したたかな植物たち - びっくり！身近な草木に見る不思議 -」

講師：多田多恵子氏（立教大学非常勤講師）

第35回 「神奈川県民俗研究」

講師：小島瓊禮氏（琉球大学名誉教授）

実施日 4月25日(日)から3月27日(日)までの毎月第4日曜日全12回

参加人数 延べ 1,639人

(4) 考古学講座「遺跡ってどんなところにあるの？」

内容 時代ごとに異なる遺跡の分布や立地傾向を事前学習会と現地踏査により調べ、遺跡を残した人々の生活環境や土地利用について考えた。

実施日 8月28日(土)から11月14日(日)まで全4回

参加人数 延べ 118人

(5) 植物学講座「地域の植生を調べる」

内容 自然環境の最も基礎的な情報である植生について、そのとらえ方から調査方法まで学んだ。

実施日 9月19日(日)から12月19日(日)まで全6回

参加人数 延べ 201人

外部講師 中田春男氏（西相模生物研究会）・富士堯氏（日野の自然を守る会）

(6) フィールドワーク「境川流域を歩く」（16年度～17年度継続事業）

内容 境川流域の地域に存在する社会や石仏などを見学しながらフィールドワークを実施した。最終的には、溪流部から河口まで歩く予定。

実施日 10月10日(日)から3月19日(土)まで全7回

参加人数 延べ 209人

(7) 地質学講座「公園の岩石観察ウォーキング」

内容 公園の石垣や敷石などに利用されている石材を観察し、身近な岩石を知るとともに、岩石学の初歩を学習した。

実施日 10月16日(土)から11月13日(土)まで全4回

参加人数 延べ 57人

(8) こども天文教室

内 容 天文の講話や実習を通じて子どもたちへの天文学や自然科学への興味・関心を高めた。

実施日 3月5日(土)から3月26日(土)まで全4回

参加人数 延べ 65人

外部講師 斎藤靖之氏(宇宙科学研究本部) / 第2回

観望会

(1) 星空観望会

内 容 季節に応じた天体の観測により天文知識の普及を図る。

実施日 毎月プラネタリウム休止時等を除く金曜日

原則月4回(27回実施) 雨天・曇天時中止

参加人数 延べ 1,050人

その他の事業

(1) こども自然教室(全4回)

内 容 屋外で実際に調べたり観察したりしながら自然について学習した。

実施日 ()5月23日(日) ... 「タンポポはかせになろう」

()6月20日(日) ... 「ツバメのうんちをしらべよう」

()9月12日(日) ... 「セミのぬけがらがし」

()11月7日(日) ... 「石ずかんをつくろう」

参加人数 延べ 174人(内訳 + + + ; 56+44+37+37=174)

(2) 糸取り・機織り実演会～糸取りや機織りを体験しよう～

内 容 糸取り・機織りの方法を見学するとともに実際に体験した。

実施日 7月17日(土)・19日(月・祝)

参加人数 延べ 240人

外部講師 大谷タケ氏・大谷京子氏

(3) 夏休み・街並たんけん相模原

内 容 小・中学生が夏休みの課題や総合的な学習の時間・社会科等の調べ学習に役立てられるように相模原発展の様子や歴史を見て歩いた。

実施日 ()7月17日(土) ... 「橋本」

()7月24日(土) ... 「相模台」

()7月31日(土) ... 「相模大野」

参加人数 延べ 93人(内訳 + + ; 38+30+25=93)

外部講師 浜田弘明氏(桜美林大学)/第3回

(4) 夏休み子ども学習相談

内 容 小・中学生を対象に夏の自由研究等のアドバイスをした。

実施日 7月21日(水)から8月31日(火)まで

参加人数 延べ 99人

(5) 子ども鉱物教室「鉱物のかたちのふしぎ」

内 容 鉱物の結晶成長や結晶形などの鉱物学の初歩を学習し、鉱物への興味を深めた。

実施日 8月21日(土)・29日(日)の全2回

参加人数 延べ 56人

(6) 夏休み親子天文教室

内 容 望遠鏡の仕組みを学びながら望遠鏡を工作し、天体観測まで行うことで天文への興味を深めた。

実施日 8月24日(火)・26日(木)

参加人数 162人

(7) 天文学講習会「望遠鏡操作入門講習会

～押入れに眠っている望遠鏡を使ってみよう～

内 容 各自所有の望遠鏡の操作方法を学び、簡単な天体写真を撮影すること、自分で天体観測ができる技術を見に付け、天文への親しみを深めた。

実施日 2月19日(土)

参加人数 18人

(8) 原始体験講座「親子まが玉作り教室」

内 容 まが玉作りを体験的に学習した。

実施日 3月20日(日)

参加人数 28人

外部講師 上田薫氏・伊丹徹氏(かながわ考古学財団)

4 プラネタリウム・全天周映画

(1) 16年度観覧者合計 45,780人

投影内容別は以下記。月別の観覧者については4ページ参照。

(2) 一般投影(プラネタリウム)

ア 内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約50分)

番組名	投影期間
スペースコロニー - 宇宙でくらす人々 -	[平成16年1月24日(土)] ~ 7月11日(日)
太陽系の誕生	7月17日(土) ~ 1月16日(日)
南極 - ペンギンの見た星空 -	1月22日(土) ~ [平成17年7月10日(日)]

イ 投影時間 平日...午後3時50分

土・日・祝日・小中学校長期休み等...午後1時30分と3時50分

ウ 観覧者 19,555人(平成16年度)

(3) 全天周映画

ア 内容 大型フィルム使用の映画作品を上映(所要約45分)

番組名	上映期間
オーストラリア~その大地と生き物たち~	[平成15年10月18日(土)] ~ 4月18日(日)
ジェーン先生と森の仲間たち ~野生のチンパンジーとのふれあい~	4月20日(火) ~ 10月10日(日)
ジェームスカメロンのタイタニックの秘密	10月17日(日) ~ [平成17年4月17日(日)]

イ 上映時間 平日...午後2時40分

土・日・祝日・小中学校長期休み等...午前10時50分と午後2時40分

ウ 観覧者 16,139人(平成16年度)

(4) 学習投影

ア 内容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組

作品 小・中学校向け「月の形と動き」

小・中学校向け「星の動き(夏/冬)」

小・中学校向け「太陽と惑星」

小・中学校向け「太陽系の仲間たち」

小・中学校向け「月の形と動き」

幼児向け「うちゅうの七にんきょうだい」

幼児向け「ピーターパンのぼうけん」

イ 投影時間 事前に利用団体と調整し、主に平日午前中に投影

ウ 観覧者 10,086人(平成16年度)

(5) 出版物

プラネタリウム・全天周映画案内パンフレット、ポスター...番組別に作成

5 その他

(1) 情報サービスコーナー

ビデオライブラリーの作品年間視聴本数 計 1 , 2 0 4 本

C D - R O M 文庫のソフト年間閲覧本数 計 9 9 本

6 学校と博物館の連携を進める研究会

趣 旨 学校教育の場で、児童・生徒の多様な学習要求に応じた幅広い学習活動充実のために、博物館の効率的かつ積極的な利用を図り、博物館の持っている機能を十分に生かす、学校と博物館の連携のあり方を研究・協議する機関。

委員構成 5名(市立小学校教諭)、3名(市立中学校教諭)の計8名

任 期 2年(平成16年7月1日~平成18年6月30日)

活動状況 平成16年度は3回開催され、利用指導のあり方や「テーマ別ワークシート」(仮称)制作について検討を行った。

7 広報・出版

(1) 刊行物

- ア 特別展・企画展のパンフレット・ポスター等 ... 3種
- イ 学習資料展のパンフレット・ポスター等 ... 1種
- ウ プラネタリウム及び全天周映画案内パンフレット・ポスター ... 計4種
- エ 博物館NEWS (Vol. 3 5 ~ Vol. 3 8)
- オ 特別展図録
 - 「晃嶺の百花譜 - 五百城文哉の植物画 - 」
 - 「相模原 - その開発と変貌 - 」
- カ 報告書等
 - 「研究報告第14集」
 - 「古淵B遺跡旧石器時代資料 再整理調査報告書」
 - 「博物館所蔵古文書目録」

(2) 有償刊行物一覧(平成17年3月末現在)

有償刊行物については、博物館と市役所情報公開室で販売。

特別展・企画展図録

書名	発行年月	販売価格
郷土の巨匠・岩橋英遠展	7・11	1,000
江南の至宝	8・2	1,300
相模原の昆虫～身近にいる小さな昆虫たち～	8・4	350
日本の宇宙開発	8・11	1,000
絵図から地形図へ～近代地形図の誕生と発展～	9・7	2,550
太陽系～母なる太陽とその家族を巡る～	9・11	700
浮世絵名品展	10・9	1,800
水生昆虫の世界～水の中の小さな虫たち～	11・7	1,200
描かれた農耕の世界	11・9	1,500
幕末・維新の相模原～村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たち～	12・10	1,500
星の測量～角度をはかり、位置をもとめる～	13・7	700
“道”再発見 - 道の役割とその移りかわり -	13・10	1,500
昆虫のふしぎ	14・7	500
水晶ってすばらしい! -その美と実用の魅力-	15・7	1,000
晃嶺の百花譜 - 五百城文哉の植物画 -	16・7	1,500
相模原 - その開発と変貌 -	16・10	800

調査報告書等

書名	発行年月	販売価格
研究報告第7集 1998	10・3	800
研究報告第8集 1999	11・3	600
研究報告第9集 2000	12・3	550
研究報告第10集 2001	13・3	850
研究報告第11集 2002	14・3	850
研究報告第12集 2003	15・3	900
研究報告第13集 2004	16・3	900
研究報告書14集 2005	17・3	900
資料集 順席(慶応三年)	10・3	800
古山の生業と伝承	10・3	600
大島地区の自然と文化	11・3	900
相模原市作成の地図	11・3	1,000
一般図・主題図・地形図	12・3	1,200
桐生亮コレクション標本目録	13・3	1,150
大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗	14・3	600

資料目録4 テフラ標本目録 町田洋コレクション	15・3	850
資料目録5 相模原植物誌 - 標本目録 -	15・3	600
古淵B遺跡旧石器時代資料 再整理調査報告書	17・3	850

展示解説書

書名	発行年月	販売価格
相模原市立博物館・常設展示解説書	8・11	1,000

(3) 他の機関等との関連

ア ポスター掲示

前述の各ポスターを、市各機関・近隣博物館へ掲示を依頼した。

イ 記事提供

広報さがみはら、相模原記者クラブ、新聞・雑誌等のメディア、他博物館等へ記事・ポスターなどの情報を提供した。

ウ 放送番組ロケ

博物館を紹介する、テレビ・ラジオ番組の取材に応じた。

主な番組内容 テレビ朝日系全国ネット...「KID'S NEWS」

ケーブルテレビJ-COMほか...「TVフォーラム神奈川」

8 博物館実務実習

学芸員資格習得のための実習として、9月7日から9月17日まで実質8日間、18名を受け入れた。分野別の受け入れ大学は以下のとおり。考古(駒沢大学2・帝京大学・立正大学)・民俗(東洋大学・日本女子大学・明星大学)・動物(麻布大学2・鶴見大学)・植物(麻布大学・桜美林大学・女子美術大学)・地質(日本大学・横浜美術短期大学)・天文(桜美林大学2・東洋英和女学院大学)。

9 博物館職員の講師派遣等

市内各公民館・小中学校等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した。(これに類するものも記載)

実施日順に、「演題等」、依頼者、月日、場所、担当者を記した。

- ・「相模原市史」、総務課市史編さん室、4月17日、総務課市史編さん室、河本雅人
- ・「第1回かんきょう学習セミナー」、環境対策課、4月18日、けやき会館、守屋博文
- ・「相模原市史」、総務課市史編さん室、4月21日、総務課市史編さん室、守屋博文 秋山幸也
- ・「縄文時代のくらし」、大野北小学校、4月23日、大野北小学校、河本雅人
- ・「初夏の谷戸の植物」、町田市公園緑地課、5月22日、忠生がにやら自然館、秋山幸也
- ・「石器、土器と人々の生活」、田名北小学校、6月1日、田名北小学校、河本雅人、
- ・「相模原市史」、総務課市史編さん室、6月6日、総務課市史編さん室、加藤隆志

- ・「体験的道德の学習」、中央中学校、6月10日、中央中学校、遠山正紀
- ・「ゲンジボタル観察会」、田名・望地の田んぼとゲンジボタルを守る会、6月19日、
望地弁天キャンプ場、守屋博文
- ・「川と友だちになろう」、新磯小学校、7月2日、新磯小学校、守屋博文
- ・「川の生き物をさがそう」、境川の斜面緑地を守る会、7月3日、境川ひのき橋、守屋博文
- ・「山十文化財セミナー」、7月10日、愛川町古民家山十邸、杉本芳秋
- ・「昆虫セミナー」、相模川ふれあい科学館、7月23日ほか、相模川ふれあい科学館、守屋博文
- ・「第2回環境教育研修講座」、座間市教育研究所、7月28日、相模川グランド横、守屋博文
- ・「職員校内研修」、新磯小学校、7月28日、新磯小学校、加藤隆志
- ・「あさみぞ高齢者学級」、麻溝公民館、7月29日、麻溝公民館、加藤隆志
- ・「職員校内研修」、新磯小学校、7月30日、新磯小学校、守屋博文
- ・「教職員研修」、共和小学校、8月24日、共和小学校ほか、守屋博文
- ・「総合的な学習における自然探索の進め方について」、もえぎ台小学校、9月8日、
木もれびの森ほか、守屋博文
- ・「昔の暮らし」、中央小学校、9月10日、中央小学校、遠山正紀
- ・「るっくあらうんど1月号」、公聴広報課、10月1日、道保川東八幡橋付近、秋山幸也
- ・「昔をさぐろう」、中央小学校、10月6日、中央小学校、遠山正紀
- ・「いいなすごいなふるさと若松の道」、若松小学校、10月8日、若松小学校、遠山正紀
- ・「原っぱの昆虫について」、新磯小学校、10月13日、新戸スポーツ広場、守屋博文
- ・「戦争から平和への歩みを見直そう」、大島小学校、10月15日、大島小学校、遠山正紀
- ・「調べよう、見つけよう、ぼくらの町の境川」、当麻田小学校、10月19日、当麻田小学校、
秋山幸也
- ・「大地のようす(1)大地のつくり」、双葉小学校、10月22日、双葉小学校、河尻清和
- ・「橋本の昔と今～大山街道に栄えた橋本宿～」、橋本公民館、10月23日、橋本公民館、
遠山正紀
- ・「由中コラボ」、由野台中学校、10月23日、由野台中学校、守屋博文
- ・「相模原の歴史」、東林中学校、10月27日、東林中学校、遠山正紀
- ・「軍都相模原の歴史」、橋本公民館、10月30日、橋本公民館、遠山正紀
- ・「植物画を描く」、NHK学園、「植物画」No27原稿執筆、11月1日発行、秋山幸也
- ・「相模原市史」、総務課市史編さん室、11月13日、総務課市史編さん室、河本雅人
- ・「相模原の大地のつくり」、夢の丘小学校、11月17日、夢の丘小学校、河尻清和
- ・「大地のつくり」、大島小学校、12月8日、神沢不動付近ほか、河尻清和
- ・「望地水路生物調査」、農政課、12月10日、田名、守屋博文
- ・「親子で見る冬の星空観望会」、星が丘公民館、12月14日、星が丘小学校、塩谷裕久
- ・「さがそう橋本の昔」、宮上小学校、12月15日、宮上小学校、遠山正紀
- ・「親子星座観察教室」、大沼公民館、1月6日、大沼公民館、平能克泰 塩谷裕久
- ・「石造物に親しむ会」、厚木市教育委員会、1月22日、厚木市上依知ほか、加藤隆志
- ・「冬の星空教室」、上鶴間公民館、2月5日、上鶴間公民館、平能克泰

- ・「星空観望会」、上溝南小学校、2月8日、上溝南小学校、平能克泰 塩谷裕久
- ・「冬の星空観察会」、東林公民館、2月10日、東林公民館、杉本芳秋
- ・「森の環境を知る」、大野台中学校、2月22日、木もれびの森、守屋博文 秋山幸也
- ・「環境講座星空観察会」、大野南公民館、2月26日、大野南公民館、平能克泰
- ・「星空観察会」、大沢公民館、2月27日、大沢公民館、平能克泰
- ・「相模原市史」、総務課市史編さん室、3月27日、総務課市史編さん室、河本雅人

他に（継続的なものとして）

- ・「相模原市史続編『民俗編』の調査」、加藤隆志
- ・「相模原市史続編『自然編』の調査」、守屋博文、秋山幸也、河尻清和
- ・「県博物館協会機能研究部会幹事としての諸業務」、秋山幸也
- ・「県博物館協会創立50周年記念事業実行委員としての諸業務」、加藤隆志
- ・「神奈川県民俗芸能緊急調査詳細調査員としての諸学務」、加藤隆志

資料管理

1 平成17年3月31日現在の資料点数は以下のとおり。

博物館収蔵資料点数リスト

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
考古	考古資料	考古資料収蔵庫等	6,057	箱	6,057
歴史	歴史資料	古文書収蔵庫	5,070	点	30,833
	歴史資料	生活資料収蔵庫	611	点	
	古文書等市史資料	古文書収蔵庫	3,314	点	
	古文書等市史資料	特別収蔵庫	21,740	点	
	購入資料	特別収蔵庫	98	点	
民俗 地理	民俗・生活資料	生活資料収蔵庫・ 大型資料収蔵庫	15,942	点	22,953
	軍事資料		1,175	点	
	地図・写真資料	図面保管庫	5,836	点	
地質	化石資料	地質資料収蔵庫等	188	点	2,853
	岩石・薄片資料	地質資料収蔵庫等	649	点	
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	1,339	点	
	ポーリング資料	地質資料収蔵庫	323	点	
	砂礫・泥流堆積物資料等	地質資料収蔵庫等	279	点	
	参考資料	地質資料収蔵庫	75	点	
動物	魚類	液浸標本収蔵庫	40	点	31,546
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	31,394	点	
	小動物等	液浸標本収蔵庫	99	点	
	鳥類	動植物資料収蔵庫	9	点	
	哺乳類	動植物資料収蔵庫	4	点	
植物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	17,471	点	17,477
	植物画資料	動植物資料収蔵庫	6	点	
天文	スライド等	フィルム収蔵庫	2,042	点	2,042
二次 資料	図書・報告書等(詳細は別途)	市民研究室等	32,145	点	35,391
	歴史関係図書類	古文書収蔵庫	3,246	点	
合計			149,152	点	

二次資料(図書・報告書等)点数リスト

市民研究室	
考古	6,389点
歴史	9,192点
民俗	2,177点
地理	2,383点
地質	1,089点
動物	1,962点
植物	422点
芸術	807点
博物館	5,342点
計	29,763点

天文研究室	
天文	563点
計	563点
情報コーナー	
図書	4,510点
ビデオテープ	248点
CD-ROMソフト	61点
計	4,819点
合計	35,145点

館内収蔵美術品・市史資料点数リスト

館内収蔵美術品(生涯学習課報)

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
美術品	絵画	美術品収蔵庫	385	点	1,202
	書	美術品収蔵庫	55	点	
	写真	フィルム収蔵庫	762	点	

館内収蔵市史資料(総務課市史編さん室報)

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
市史資料	行政資料	古文書収蔵庫	600	点	600

2 資料収集・保存

分野	内容
考古資料	斎藤武一氏旧蔵資料の整理 移管・収蔵資料の整理
歴史資料	歴史資料の収集・整理、未整理資料の整理
民俗資料	市域の民俗資料の収集、未整理資料の整理及びカード作成
地理資料	市域の生活資料の収集・整理。寄贈図書、地図の整理
動物資料	動物資料の収集及び収蔵資料の整理
植物資料	植物資料の収集及び標本の作製・整理
地質資料	地質資料の収集 寄贈予定資料(火山灰、故貝塚爽平氏研究資料)の整理・データ化
天文資料	星雲・星団・太陽画像の撮影 インターネットによる公開天文台ネットワーク、国立天文台等からの画像収集
情報資料	他博物館より送付されたパンフレット等の閲覧用への整理

3 平成16年度購入資料

区分	内 容
博物館資料	「相模国全図」
学術雑誌	考古学ジャーナル・月刊むし・天文月報等の専門雑誌24種 (市民研究室・天文研究室で開架)
新刊書籍及び ビデオソフト等	市民研究室・情報サービスコーナーへの配架用として、新刊書 を中心とした書籍36冊、ビデオ7本、CD-ROM1本を購入した。

4 有害生物管理の実施

(1) 受入れ資料の燻蒸

8月上旬及び1月中旬の2回、受け入れ資料を対象に、洗浄・乾燥室においてガス薬剤(エキヒュームS)を用いた密閉くん蒸を実施した。

(2) 有害生物調査

通年にわたり、収蔵庫および作業室を対象に、各種トラップを用いて有害生物の侵入状況を調査した。

5 資料の特別利用

平成16年度の資料特別利用(館外貸出等)について、日付(期間)順に、資料、利用種別、期間、申請者、目的の順に記した。

- ・航空写真、館外貸出、4月1日～6月30日、資産税課、利用 調査事務
- ・縄文土器、館外貸出、4月16日～4月21日、相模川自然の村野外体験教室、教材利用
- ・上溝駅写真、館外貸出、4月23日～4月30日、民間、テレビ放送
- ・ゴミ箱、撮影、4月24日、産経新聞社、新聞掲載
- ・上空からみた相模原台地の段丘と相模川写真ほか、館外貸出、4月24日～6月15日、
総務課市史編さん室、市史編さん
- ・橋本遺跡旧石器資料ほか、撮影、5月2日、個人、調査研究
- ・大山拾六景、撮影、5月1日、民間、テレビ放送
- ・当麻宿地図、撮影、6月1日、個人、調査研究
- ・陸地測量部沿革誌ほか、撮影、6月10日、民間、テレビ放送
- ・神文之事血判状ポジほか、館外貸出、6月11日～7月6日、文化財保護室、文化財審議会資料
- ・赤土調査写真ほか、館外貸出6月18日～7月18日、総務課市史編さん室、市史編さん
- ・航空写真、館外貸出、7月1日～9月30日、資産税課、利用 調査事務
- ・新磯村役場資料、閲覧、7月14日、管財課、調査事務

- ・水晶の写真、その他、7月20日、民間、出版物掲載
- ・牛久保友子家文書、その他、7月24日、個人、出版物掲載
- ・上溝太子講組合資料、撮影、8月11日、個人、出版物掲載
- ・中村遺跡出土資料、館外貸出、8月17日～11月16日、総務課市史編さん室、石材産地推定
- ・橋本遺跡旧石器資料、閲覧、8月18日、個人、調査研究
- ・田名向原遺跡住居状遺構出土石器、館外貸出、8月20日、21日、文化財保護室、展示
- ・田名向原遺跡写真ほか、館外貸出、9月2日～9月10日、文化財保護室、印刷物掲載
- ・中村遺跡出土旧石器資料、模写、9月15日、個人、論文作成
- ・大和市下鶴間武蔵野ローム層露頭写真、館外貸出、9月16日～10月12日、民間、

出版物掲載

- ・橋本遺跡旧石器資料、閲覧、9月20日、個人、調査研究
- ・航空写真、館外貸出、10月1日～12月31日、資産税課、調査事務
- ・縄文土器、館外貸出、10月7日～10月31日、県立弥栄東高等学校、教材利用
- ・橋本遺跡旧石器資料、撮影、10月27日、個人、調査研究
- ・足踏み脱穀機、館外貸出、11月10日～11月15日、相模原市農協、脱穀体験
- ・縄文土器、館外貸出、11月15日～12月15日、県立弥栄東高等学校、教材利用
- ・日の丸、館外貸出、11月17日～11月19日、旭中学校、教材利用
- ・下九沢獅子舞写真ほか、館外貸出、11月19日、個人、出版物掲載
- ・田名坂上遺跡出土三彩小壺写真、館外貸出、11月30日～12月28日、文化財保護室、

印刷物掲載

- ・将校服ほか、館外貸出、12月2日、清新公民館、教材利用
- ・常設展示解説書、撮影、12月7日、個人、論文作成
- ・襖絵、館外貸出、12月8日～12月28日、相模原市民ギャラリー、展示
- ・唐箕、館外貸出、12月9日～3月31日、横浜市歴史博物館、展示
- ・航空写真、館外貸出、1月1日～3月31日、資産税課、調査事務
- ・山王平遺跡縄文土器、撮影、1月6日、個人、調査研究
- ・道祖神写真、館外貸出、1月7日、総合学習センター、出版物掲載
- ・笹野ハル家文書租税72ほか、その他、1月13日、個人、出版物掲載
- ・物置写真、館外貸出、2月15日～3月15日、国立民族学博物館、出版物掲載
- ・古淵B遺跡旧石器資料、撮影、3月2日、個人、調査研究
- ・麻溝台小学校写真、撮影、3月11日、民間、テレビ放送
- ・田名村絵図ほか、撮影、3月13日、民間、テレビ放送
- ・神文之事ポジほか、館外貸出、3月18日～3月31日、文化財保護室、HP掲載
- ・橋本の街並写真、撮影、3月24日、民間、テレビ放送
- ・外観写真(要覧)、模写、2月6日、民間、出版物掲載
- ・縄文土器、館外貸出、3月17日～3月31日、県立弥栄東高等学校、教材利用

調査研究

調査分野 及び調査者	内 容
考古資料の調査 河本 雅人	境川流域における旧石器時代遺跡発掘調査資料の再検討
歴史資料の調査 上田 幸枝	市制50周年記念展開催に伴う資料調査
民俗資料の調査 加藤 隆志	市域及び周辺地域における石仏及び道祖神信仰に関する調査 未発表民俗調査のデータ整理、町田市博物館職員ほかとの境川流域の調査
地理資料の調査 遠山 正紀	生活資料の分類及び収集、展示に関する調査 市域の景観調査、収蔵品展開催に伴う資料調査
動物資料の調査 守屋 博文	市域の水生昆虫生息調査...生息状況把握と二次資料化 昆虫生息調査...市域の昆虫類生息状況調査
植物資料の調査 秋山 幸也	市内における高等植物の分布状況の調査 市内及び周辺地域の緑地の植生構造調査
地質資料の調査 河尻 清和	相模川流域の地質調査、火山灰資料調査
天文資料の調査 杉本 芳秋 平能 克泰 塩谷 裕久	ペガス座U星の光電測光観測

相模原市立博物館

発行：平成17年4月1日

住所：〒229-0021 相模原市高根3-1-15

TEL：042-750-8030 FAX：042-750-8061

<http://www.remus.dti.ne.jp/~sagami/index.htm>